

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2005-350649 (P2005-350649A)

【公開日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-050

【出願番号】特願 2004-376632 (P2004-376632)

【国際特許分類】

C 0 9 K 11/08 (2006.01)

C 0 9 K 11/59 (2006.01)

C 0 9 K 11/61 (2006.01)

C 0 9 K 11/64 (2006.01)

C 0 9 K 11/66 (2006.01)

C 0 9 K 11/67 (2006.01)

C 0 9 K 11/71 (2006.01)

C 0 9 K 11/73 (2006.01)

C 0 9 K 11/75 (2006.01)

C 0 9 K 11/76 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 11/08 D

C 0 9 K 11/08 J

C 0 9 K 11/59 C P R

C 0 9 K 11/61 C P T

C 0 9 K 11/64 C P M

C 0 9 K 11/64 C P W

C 0 9 K 11/64 C P X

C 0 9 K 11/66 C P P

C 0 9 K 11/67 C P S

C 0 9 K 11/71 C Q A

C 0 9 K 11/73 C Q B

C 0 9 K 11/75 C P Z

C 0 9 K 11/76 C Q H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 24 日 (2006.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

紫外線光又は可視光励起用発光物質において、

S c、Y、L a、C e、P r、N d、P m、S m、E u、G d、T b、D y、H o、E r、T m、Y b 及び L u からなる群より選ばれた少なくとも 1 種の希土類元素、又は M n からなる希土類元素とは異なる元素の何れか一方又はその双方の元素により活性化され、鉛及び / 又は銅を含有する化合物を含むことを特徴とする発光物質。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

本発明によれば、前記諸目的は、紫外線光又は可視光励起用発光物質において、S c、Y、L a、C e、P r、N d、P m、S m、E u、G d、T b、D y、H o、E r、T m、Y b及びL uからなる群より選ばれた少なくとも1種の希土類元素、又はM nからなる希土類元素とは異なる元素の何れか一方又はその双方の元素により活性化され、鉛及び/又は銅を含有する化合物を含むことを特徴とする発光物質によって成し遂げられる。